

# 北九州市民の会ニュース

## 病院統廃合見直しー市議会が意見書を可決

6月17日に閉会した北九州市議会の最終日、日本共産党提案の「公立・公的病院統廃合計画の見直しを求める意見書」が賛成多数で可決しました。意見書には厚生労働省がすすめる424の公立・公的病院の再編・統合の見直しを政府に要請するものです。コロナ感染拡大の非常時でも公立・公的病院は極めて重要な役割を果たしており、その再編統合は許されないとしています。この意見書に賛成したのは、日本共産党（8人）、自民の会（9人）、ハートフル北九州（11人）、一人会派（3人）で57名中31人の賛成多数でした。北九州でも市内5カ所にあった市立病院は、2002年から11年にかけて戸畑病院、若松病院が民間譲渡、門司病院は指定管理者制度導入が行われ、19年には財政の赤字を理由に、市立医療センターと市立八幡病院を独立行政法人化病院機構とし、市議会を通じた市民の意思の反映が大きく制約されるものとなっています。このように北九州市の感染医療への体制が弱まってきたのは、効率化を理由に行財政改革をすすめてきた結果です。コロナ危機での公的病院の役割が重要視されています。「コロナ感染の影響で、利潤第一主義が見直されている」意見書の可決は、市民本位の保健医療体制の強化に取り組む第一歩にしていきましょう。なお、6月議会では、日本共産党北九州市議団は4件の意見書を提案しました。その内3件が全会派一致及び賛成多数で可決されました。可決された3件はコロナウイルス感染防止対策の関連する内容であり、他の会派も否決することができないものでした。

(市議団事務局 小林)

## 小倉南革新懇第10回総会 田村貴昭さんが国政報告

6月20日(土)、小倉南革新懇が第10回総会を開き、40名が参加しました。代表世話人の荒牧啓一弁護士が開会挨拶。来賓として、高瀬菜穂子県議、藤沢加代市議、うど浩一郎市議予定候補が挨拶しました。国政報



告した田村貴昭さんは、コロナ禍のさなか憲法改悪に前のめりの安倍首相を批判し、憲法審査会への自民党の改憲案提示を5国会連続で阻止したと強調。次の総選挙で野党が多数を握って憲法が生きる政治をつくるため、粉骨砕身がんばっていくと決意を述べました。総会では、2020年度の活動方針案、予算案、役員人事案が討議され承認され、有馬和子世話人の元気な閉会挨拶で終わりました。

## 「2020平和のための戦争展」 第2回実行委員会

### 今年度の中止と来年度の方針を確認

6月25日(木)、コロナ禍のもと、上記実行委員会が開催され7名が参加。今年度の戦争展の中止は確認済みでしたが、実行委員会として正式に中止確認をしました。今年度中止の連絡を、今まで広告、カンパをしてくださった方々に手紙でお知らせすることを決定しました。現在必要な処置を進められ、早い段階で中止のお知らせが届けられます。来年度は、今年度準備してきた企画を生かすようにする方向で開催することを確認し、同会場の黒崎コムシティーを10月1日に申し込むことにしました。開催日の第1希望は、2021年8月21日(土)、22日(日)です。2021年度の開催日と場所が確定した後、新たな2021年実行委員会立ち上げの準備を進めていきます。

(戦争展事務局より)

## 高齢者福祉乗車券の実施を求める署名を！ 区民の会・市民の会交流会で 署名推進具体化

6月27日(土)、区民の会・市民の会交流会が開かれ、11名が参加し、高齢者福祉乗車券の実施を求める署名推進体制について検討、各区での取



平和とくらしを守る北九州市民の会  
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F  
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346  
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>  
e-mail:koe@siminnokai.com



り組みを具体化しました。署名用紙、ビラ、募金訴え、返信封筒の印刷を終え、各区ごとに必要部数が6月29日に届けられる。各区民の会では、赤旗しんぶんへの折込と、居住地域への投函を7月中に実施することを決めました。地域配布（投函）後、市民の会宛に返信していただいた署名入り封筒は、各区民の会にお渡しするなど、コロナ禍のもと高齢者福祉乗車券の実施を求める署名推進活動を決めました。次回の区民の会・市民の会交流会は、8月19日(水)10:00~12:00 戸畑生涯学習センター。

### 2020国民平和進行 長崎から広島へ

(写真) 広島に向けて出発する国民平和進行  
進=28日、長崎市

2020年原水爆禁止国民平和進行(長崎-広島コース)が28日、長崎市の爆心地公園から広島に向けてスタートしました。



出発集会には約130人が参加。今年は進行コースの短縮など、コロナ感染拡大に配慮して取り組まれています。

里正善・現地実行委員長があいさつし、田上富久市長のメッセージが紹介されました。

「『ヒバクシャ国際署名』をすすめる長崎県民の会」の朝長万左男共同代表は昨年、この公園でローマ教皇が「核廃絶実現には一人ひとりの参加が必要」と強調し、核兵器国の指導者に向けて「あなた方が考えを変えて決断してください」とのメッセージを発信したことを紹介。行進者を激励しました。

被爆者(79)は、爆風で吹き飛ばされた瞬間を昨日のこのように覚えていると語り、「核兵器のない世界をつくる、その先頭に立てる政府にするため、私たち被爆者もともに頑張りたい」と話しました。

原爆が投下された午前11時2分に全員で黙とうし、市内中心部の鉄橋(てつばし)にむけ100人が出発しました。

初めて歩くという高教組の男性(33)は「前から平和の問題に関わりたと思っていた。歩くことでみなさんに核廃絶をアピールできた」と話しました。

(6.29赤旗しんぶんより)

### コロナなんかには負けとられんけんね!

#### 二つの裁判勝利に向けて元気に スタンディング宣伝行動を実施

2020年6月20日(土)門司駅前で「生活保護基準引き下げ違憲訴訟、年金引き下げ違憲訴訟を支援する会(いかんよ貧困・福岡)」北九州支部で宣伝行動をおこないました。当日は生活と健康を守る会・年金者組合・北九州市社保協から総勢21名が参加。コロナ禍の中、署名・ビラ配布は自粛しスタンディング宣伝としました。

梅雨の晴れ間で汗ばむくらいの陽気の中、参加者は91歳の原告を筆頭に高齢者が中心でしたが、コロナを吹き飛ばす勢いで元気に宣伝行動を実施。二つの裁判の経過と行方、そしてこの裁判の意義と支援の訴えをおこないました。まだまだ人出はまばらでしたが、足を止めてポスターを覗き込む人や91歳の原告に声をかけ会話する人など一定の宣伝効果がありました。

#### 生存権裁判、初の判決は・・・

この間、集団訴訟として全国で始まった2つの裁判もコロナの影響で中止・延期となっていました。生活保護基準引き下げ違憲訴訟については6月25日に名古屋で初の判決が言い渡されました。内容は原告の訴えを退ける不当なものでした。扶助基準の大幅削減は、2012年12月自民党が給付水準の10%引き下げを公約に盛り込み政権復帰を果たした安倍政権の公約実現に向けた意向が強く反映されたもので、「物価下落や歪み調整」などデータを捏造・偽装し強行されました。福岡での生活保護基準引き下げ違憲訴訟の第19回弁論は7/13(月)13:30~、年金削減違憲訴訟の判決日も7/31(金)14:30~と日程が決まり、それぞれ福岡地裁で行われます。私たちの命と暮らしに直結する重要な裁判です。何としても福岡での訴訟は勝利を目指し、皆で励まし合い力を合わせ頑張りましょう!

(北九州社保協事務局 岡本さんより)

